

## 平成30年度事業報告書

平成30年1月1日～平成30年12月31日まで

本協会は、平成30年度事業計画に基づき、次の事業を行った。

### 『公益目的事業 1』

＜プロボウラー及び指導員の認定育成事業＞

#### 1. プロボウラーの資格認定及び登録

男子57回・女子51回プロボウラー資格取得テストを実施した。

受験者数は、男子61名(前年61名)、女子21名(前年25名)であった。

第1次(実技)、第2次(実技)、第3次(筆記・面接・身体検査等)を行い合格者、男子20名(前年18名)、女子10名(前年11名)を正会員として登録を行った。

#### 2. プロボウラーの指導者及び一般の指導者の資格認定・登録事業

インストラクターの資格認定及び登録を行った。

(1)公認インストラクターA級・B級・C級、各合格者の認定と登録を行った。

A級1名、B級5名、C級25名を公認インストラクターとして認定し登録を行った。

(2)認定インストラクター1級・2級の認定と登録を行った。

1級49名、2級133名を認定インストラクターとして、登録を行った。

#### 3. 講座、セミナー、育成事業

(1)専門講習会 part IIを東西で開催した。

東日本(大学ボウル土浦本店) 28名参加

西日本(博多スターレーン) 32名参加

(2)インストラクター資格取得講習会

全国9会場1級44名、2級105名の参加

#### 4. ボウリングを通じての医・科学の調査研究

#### 5. ボウリング関係団体が主催する競技会又は講習会の指導・援助

(公社)日本ボウリング場協会が、社会福祉の向上に寄与する活動として障害者の方々も参加する「第52回宮様チャリティーボウリング大会」へプロ30名を派遣し、障害者への指導及び交流を図った。

・開催日 平成30年11月24日(土)・25日(日)

・会場 品川プリンスホテルボウリングセンター

・参加人数 健常者(男女)303名、障害者(男女)107名 合計410名

#### 6. ボウリングに関する刊行物の発行

・メディアガイドブック

・2019プロボウリングカレンダー

#### 7. ボウリング技術及びマナーに関する調査研究、指導及び奨励事業

J P B A全国ジュニアボウリング教室を、文部科学省の後援を頂き(公社)日本ボウリング場協会との共催でボウリングスクールを開催した。

・春休み：センター数及び参加者数 26会場 947名

・夏休み：センター数及び参加者数 96会場 5370名

・冬休み：センター数及び参加者数 26会場 890名

## 『公益目的事業 2』

### 1. 競技会開催による普及及び啓発事業

◎主催及び共催トーナメントの開催及び運営を行った。

- ・ JPBA シーズントライアル 2018 (ウインター、スプリング、サマー、ホタムシリーズ各4会場) ※  
参加人員=1,192名
- ・ 「ガリコペンティオンズ杯」第6回プロアマボウリングトーナメント (男女同時開催)  
参加人員=プロ154名、アマ76名
- ・ 2018 下半期女子トーナメント出場優先順位決定戦  
参加人員=228名
- ・ 第9回HANDA CUPプロボウリングマスターズ(50歳以上)  
参加人員=プロ104名、アマ131名
- ・ R1 グランドチャンピオンシップ (男女同時開催)  
参加人員=1,116名
- ・ スカイAカップ2018プロボウリングレディーズ新人戦  
参加人員=プロ64名、アマ30名
- ・ 第20回三湖コリアンカップ(韓国/Red Hill Lounge Bowling Stadium)  
参加人員=男子プロ39名、女子プロ6名他海外プロアマ参加
- ・ 2018プロボウリング男子新人戦  
参加人員=44名
- ・ 「HANDA CUP」第50回全日本女子プロボウリング選手権大会 ※  
参加人員=72名
- ・ HANDA CUP第52回全日本プロボウリング選手権大会 ※  
参加人員=96名

◎公認トーナメントの運営委託を行った。

- ・ スカイAカップ第39回関西オープン(女子)  
参加人員=プロ154名、アマ40名
- ・ 2018 宮崎プロアマオープントーナメント(女子)  
参加人員=プロ120名、アマ30名
- ・ 中日杯2018 東海オープン (男女同時開催)  
参加人員=男子プロ217名、女子プロ143名、アマ100名
- ・ 第34回六甲クイーンズオープントーナメント  
参加人員=プロ76名、アマ19名
- ・ 第12回MKチャリティカップ (男女同時開催)  
参加人員=男子プロ140名、男子アマ36名、女子プロ98名、女子アマ23名
- ・ 第41回STORMジャパンオープンボウリング選手権 (男女同時開催)  
参加人員=男子プロ282名、男子アマ582名、女子プロ163名、女子アマ269名
- ・ コカコーラカップ2018 千葉オープン(男子)  
参加人員=プロ174名、アマ32名
- ・ 第41回JLBCクイーンズオープンプリンスカップ  
参加人員=プロ160名、アマ210名

※印は、プロボウラーのみが参加できる競技会

### 2. ボウリング競技会の記録、管理及び研究

- (1) トーナメントの公認・承認。
- (2) 競技会規則の制定、調査研究
- (3) 公認トーナメント競技の記録、管理

(4) 30年度年間優秀者の表彰。

<u>年間優秀者表彰</u>	<u>男</u>	<u>子</u>	<u>女</u>	<u>子</u>
ポイントランキング第1位	山本	勲	姫路	麗
アベレージランキング第1位	川添	奨太	松永	裕美
賞金ランキング第1位	和田	秀和	姫路	麗

(公財)日本プロスポーツ大賞受賞者

功労賞 川添 奨太プロ

新人賞 霜出 佳奈プロ

3. その他本協会の目的を達成するための必要な事業

(1) (公財)日本ユニセフ協会への協力

第40回ユニセフハンドインハンド募金キャンペーン中央大会

(2) (公財)日本プロスポーツ協会へ理事・評議員を派遣し会の運営に参画した。

(3) トーナメントプレイヤー講習会を開催した。(6会場・551名参加)

- ・トーナメント開催規程、競技規程
- ・スポーツにおけるドーピングの防止活動
- ・暴力団等反社会的勢力に対する対応並びに賭博行為の禁止

『その他の事業』

相互扶助事業

1. 退会慰労金及び功労金

2. 弔慰見舞金

公益社団法人日本プロボウリング協会  
平成30年度正味財産増減計算書

(平成30年1月1日から平成30年12月31日迄)

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
[経常増減の部]			
[経常収益]			
【受取入会金】	1,500,000	1,450,000	50,000
【受取会費】	76,972,000	76,745,000	227,000
【事業収益】	153,500,493	153,182,990	317,503
大会運営収益	132,491,233	125,639,620	6,851,613
その他事業収益	21,009,260	27,543,370	△ 6,534,110
【インストラクター収益】	25,437,000	34,427,000	△ 8,990,000
50周年記念事業収益	0	9,133,900	△ 9,133,900
【寄付金収益】	800,000	800,000	0
【雑収益】	283,876	332,583	△ 48,707
経常収益計	258,493,369	276,071,473	△ 17,578,104
[経常費用]			
【事業費】	229,027,851	271,414,528	△ 42,386,677
大会運営費	124,468,017	116,419,640	8,048,377
プロテスト費	6,066,985	5,338,758	728,227
トーナメント委員会費	1,187,162	504,838	682,324
国際事業費	16,320	17,020	△ 700
開発事業費	1,827,246	987,606	839,640
インストラクター事業費	18,042,176	23,036,234	△ 4,994,058
広報事業費	9,629,378	10,117,035	△ 487,657
50周年記念事業費等	0	46,554,671	△ 46,554,671
その他	17,077,279	16,742,645	334,634
事業管理費	50,713,288	51,696,081	△ 982,793
【管理費】	25,307,956	27,346,830	△ 2,038,874
経常費用計	254,335,807	298,761,358	△ 44,425,551
税引前当期一般正味財産増減額	4,157,562	-22,689,885	26,847,447
一般正味財産期首残高	124,482,934	147,172,819	-22,689,885
一般正味財産期末残高	128,640,496	124,482,934	4,157,562
当期一般正味財産増減額	128,640,496	124,482,934	4,157,562